

■～明けましておめでとうございます～



昨年11月から葛飾赤十字産院NICUに勤めさせていただいています小児科の岡田創と申します。出身は千葉ですが大学、研修医は愛知にいたので8年ぶりに関東に戻ってきたことになります。昨年は新天地での新しい生活、新しい環境、新しい職場の先生方、慣れないことも多かったですが充実した1年でした。今年も充実した1年になるようがんばりたいと思います。さて、特にテーマフリーということなのですが何を書けばよいものやら。自分は良くオタクやマニアといわれます。まあそういう部類の人間です。何が好きかといえば、ミリタリー関係(戦車、戦艦、戦闘機等)、ガンダム、車(運転することも含めて)等々です。



この中から何かお話をしたいと思います。きわめてマニアックな話になると思われますがお付き合いください。皆さんは「弩級の」とか「超弩級の」という言葉を使ったり、聞いたりしたことはあるのではないかと思います。時々クイズの答えになったりしていますが、これはイギリスの戦艦「ドレッドノート」からきています。

昨年NHKにて「坂の上の雲」というドラマが放送されていましたが、最終話「日本海海戦」以降に建造された船になります。

この船の特徴の一つとして大砲があります。

それまでの船は主砲の他に船体の側面にいろいろな大きさの大砲を積んでいました。そのため、相手に側面を向けて攻撃するのが最も力を発揮する形となる訳です。日本海海戦の「丁字戦法」もまさにこれを狙っているものです。しかしよく考えると、相手に向けていない反対側の大砲はまったく使えないことになり非効率的です。また、大砲の大きさもまちまちなため、統一したことができません(射程が違う、弾を込めるスピードが違う)。これを改善したのが「ドレッドノート」です。大きな、同じ大きさの大砲を回転する砲塔に積み、船体の中心線上に配置することによりほぼ全ての能力を片側に向けられる訳です。どんな形かというと、あの有名な「大和」もしくは「宇宙戦艦ヤマト」でもかまいませんがまさにあの形です。

戦艦といって思いつく船の形はみなこの船からきたといってもかまいません。だからこそこの船が登場した瞬間に世界中に衝撃をあたえ、それまでの船が(建造中も含めて)一挙に旧式化し、「弩級」という言葉が生まれた訳です。



ちなみに「大和」は弩級戦艦かと問われれば答えはNOです。では超弩級？、これもNOです。あまり使われませんが「大和」は超々々弩級戦艦になります。もう訳が分からないですね。では超弩級とは……。

さて、オタクやマニアと呼ばれる人間はこういった、日常に特に何の役に立つ訳でもない知識をいっぱい持っています。自分が好きなことを調べたり、考えたりするのが大好きな訳です。スポーツをする訳でもないのですが趣味の一つといえると思います。仕事以外に何か熱中することができるものがあるということは、私生活が充実するため幸せなことであると思います。



趣味がないという人がいますが、誰からも理解されなくても何かしら好きなものはあるのではないのでしょうか。もちろん仕事でもかまわないと思いますが、多角的な視点を持つためにも、仕事以外でなにかもう一つくらい持ってもいいと思います。僕の場合はあまり役に立ちませんが……。

さて今年も趣味に仕事に充実した1年を送ろうと思います。

長々とした駄文にお付き合いいただきありがとうございました。

まだまだ寒い日は続きますが、風邪等引かぬように手洗いうがいをしっかりと気をつけていきましょう。

小児科医師 岡田 創